

# 協働する社会を創る

東京に避難されている  
母子支援活動

NPO法人こどもプロジェクト

# 設立経緯

□東日本大震災、福島原発事故後、東京都指定の大型避難所「旧グランドプリンスホテル赤坂」の地下1階ウェディングサロンに学習ルームが開設された。学校に行っていなかった小・中学生の学習支援が行われた。



2011年4月29日～6月28日

□運営団体「赤プリこどもサポーターズ」→ 東京弁護士会開設

□「子どもの学ぶ権利」。会期中延べ500名の小学生をサポート



# 都内での学習支援・レクリエーション

赤プリ閉鎖後は、月2回千代田区、中野区にて大学生ボランティアの学習支援を継続。

小学生を主な対象として、月1回レクリエーションも実施しています。



# ほんわか広場 中国料理教室

月1回、料理の鉄人陳建一氏の本格レシピに玄米や薬膳を取り入れた中国料理教室を飯田橋で開催。

お料理を楽しみながら会話もはずみます。



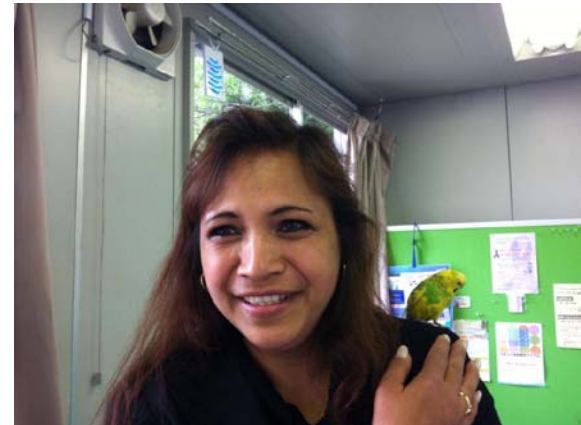


# マリビック英会話サロン

千代田区、江東区東雲、中野区白鷺にて開催。

いわき市で英会話講師だったマリビックさんによるアットホームな英会話サロンです。

母子参加歓迎。



# 福島キッズ スポーツフェスタ

## COACHベースボールチャリティ

2012年11月24日、明治神宮球場に、福島から100名、東京に避難されているご家族100名をご招待し、スポーツイベントを開催。東京ヤクルトスワローズ館山投手、畠山内野手、武内内野手、村中投手、上田外野手の協力で、野球教室とゲームやクイズを楽しみました。



# 今後のビジョン

## 協働で支える長期滞在型ハウス

### オーストラリア式のドナルド・マクドナルド・ハウスから学ぶ

遠隔地から都市部に長期で滞在する母子を、経済的、精神的に支える目的の共同ハウス。世界30カ国、約300ハウス運営。

ボランティアが掃除、生け花、マッサージ、クッキングなど得意分野でサポートする。企業から生活用品、食品等の寄付がある。

日本では企業(マクドナルド、アフラックなど)だけでなく教会、お寺、病院の寮、社員寮などでも設営。利用料は日本平均1泊1,000円～2,000円。





# 国・自治体・企業・市民が 協働で支えるしくみづくり

- \* 国や自治体が土地を提供。
  - \* 企業財団がハウスを建築。空き家や社員寮なども改築。
  - \* NPOやボランティアが運営。
- \* オーストラリアでは、宿泊費を一律に1泊約4,000円と国が定め、利用者の自治体がハウスに支払うために民間運営が安定している。 → 日本にもこの仕組みが必要。

